

令和3年度入試の実施予定状況〈5月末まとめ〉

新型コロナウイルス感染症の流行による緊急事態宣言が解除され、6月より各種学校では少しずつ登校が開始されました。しかしながら、一部に流行の第二波の兆候も見られ、引き続き気の緩みは許されない状況とも言えそうです。ベスト個別指導塾でも、6月1日より、感染予防に万全の対策を施した中で教室での授業を再開しました。対面した授業では、生徒さんの元気な姿を直接見ることができて、まずは一安心しました。

さて、休校期間が長引いた影響で、一時「9月入学制」へ移行するような可能性もありましたが、少なくとも来年度は見送られる公算です。ということは、これまでと同じように来年3月までに入試が行われるということであり、現受験学年の生徒さんは、これに備えなければならぬということでもあります。そこで今回は、巻頭の特集に引き続き、5月末時点の各入試の実施予定の状況を簡単にまとめてみました。ただし、今後の状況によりさらに変更の可能性もあることを、併せて付記しておきます。

【大学受験】

詳細は巻頭の「今月の特集①」にある通りですが、文部科学省は、各大学に今年の実験生が不利にならないよう配慮した受験を実施することを通知しました。

1. 部活動や資格・検定における不利益に配慮すること
2. 出席日数や課外活動が少ないことに対する不利益に配慮すること
3. ICTを活用した時の不利益に配慮すること

そして入試日程については、文科省が引き続き変更を検討しています。例年だと「総合型選抜」は9月以降出願で合格発表が11月以降、「学校推薦型選抜」は11月以降出願で合格発表は12月以降、一般選抜は1月中旬～2月に実施です。萩生田光一文部科学大臣は、5月29日の会見で入試日程の見直しが必要という考えを示し、文部科学省内で日程や出題範囲を限定する検討を始めたと言っています。また5月28日に全国高等学校長協会へアンケート調査を依頼したとも説明。調査結果も踏まえ、感染症の専門家を交えて高校・大学関係者と協議し、6月中に大学入学者選抜実施要項を策定、公表したいとしています。

【高校受験】

去る5月13日に、文部科学省から各地方自治体や各教育委員会宛に、令和3年度高校受験での配慮を求める5項目の通達が出されました。下記に、その中でもとくに受験に直結した内容の1項目をご紹介します（下線は編者追記）。

地域における中学校等の臨時休業の実施等の状況を踏まえ、令和3年度高等学校入学選抜等における出題範囲や内容、出題方法について、各実施者において、必要に応じた適切な工夫を講じていただきたいこと

さらに、上記の「工夫の例」として

- ・中学校第3学年からの出題は、地域における中学校等の学習状況を踏まえ、適切な範囲や内容となるよう設定する
- ・地域における中学校等の学習状況を踏まえ、問題を選択できる出題方法とする

とあります。これは、簡単に言って

①入試の出題範囲が狭まる

②問題選択制の導入

これら2点の検討を促しているということです。しかし①については、現実的にみて、各自自治体で採択教科書が異なっていたり、学校や担当の先生によっても進み方が違うため、今からその調整を行うのは無理があるように思われます。一方、②は大学入試ではこれまでも一般的に行われてきており、とくに理科や数学では、現実的な対処方法でしょう。ただし、都立入試の英語や社会では、これまでの出題傾向を考えるとあまり影響がないと思います（英語で関係代名詞が出ない、などの程度）。国語はほとんど関係ないでしょうね。また、逆に都立自校作成校などの上位校や中堅人気校では、3年間の内容をしっかり勉強してきた受験生と、そうではない受験生の差が如実に表れる入試になるとも言えるため、今からしっかりと対策をしておく必要があります。

【中学受験】

中学受験では、現段階の具体的な入試実施変更点は発表されていません。しかし、今後の感染流行の状況により、いくつか影響が出そうな点を挙げておきます。

1. 模試の開催回数減によって、学力把握がしにくい状況が生じている
→人気校・不人気校がより明確になる方向へ
2. 「3密」予防のため、入試受験者数を制限・分散する可能性がある
→1回の受験者数を4分の1～3分の1に。必然的に、倍率の高騰が生じる
3. 分散された場合、入試日が2月第2週に渡ってしまい、大学入試並みの長丁場になる可能性がある→受験生の集中力・体力が例年以上に問われる
4. 試験時間の短縮とそれによる入試の簡素化により、併願校選択・受験日程の複雑化が生じる可能性がある

参考HP：〈DIAMOND online〉〈受験情報サイト インターエデュ〉

どの受験を迎えるにしても、ほぼ例年と同じような対策が必要であり、どのような状況になっても、しっかりと備えておかなければならない状況と言えます。まずは、新型コロナウイルス感染症に罹患しないように体調管理には十分に気をつけ、確実な学力を着実に身につけていくように努めていきましょう。